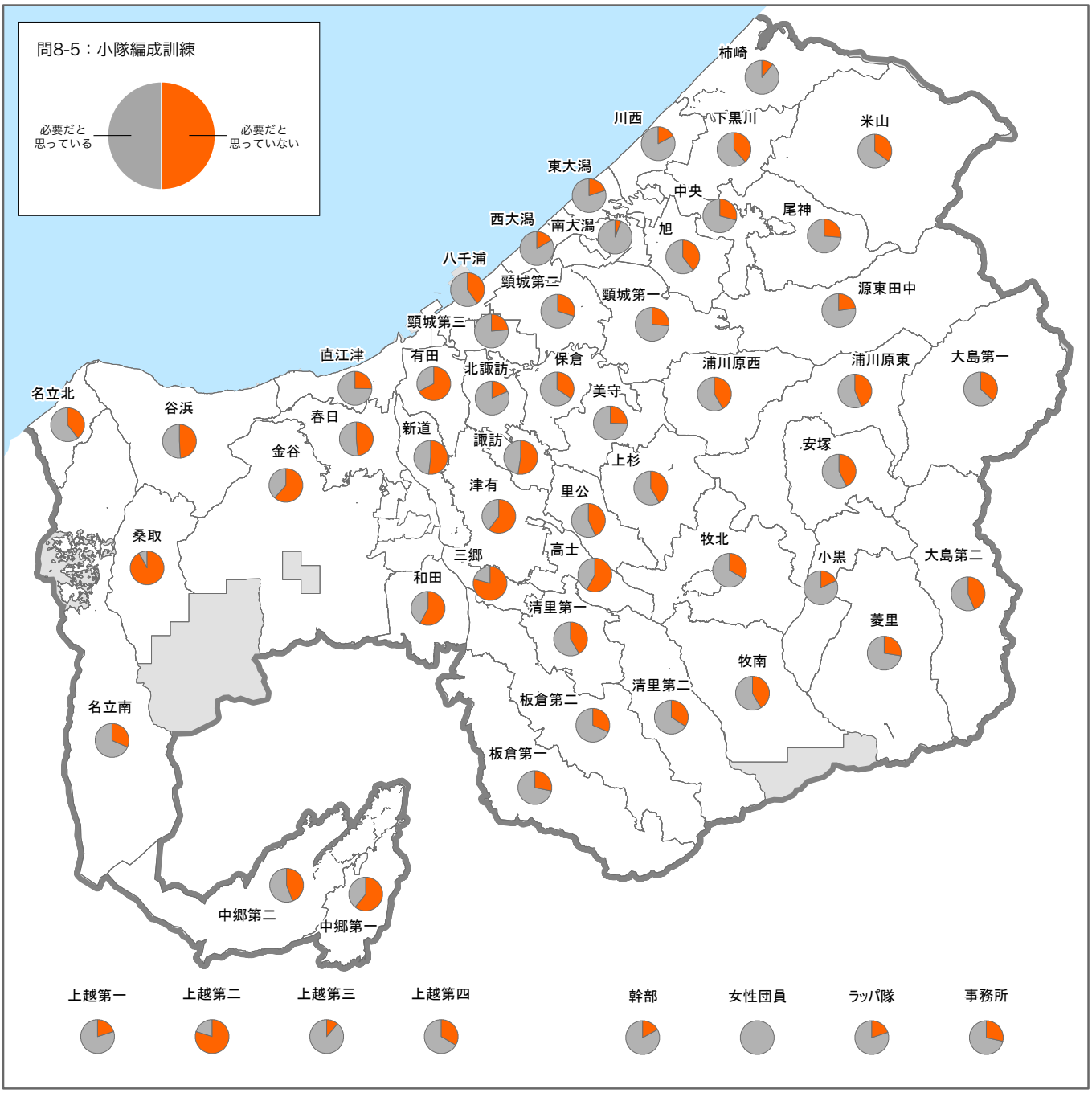
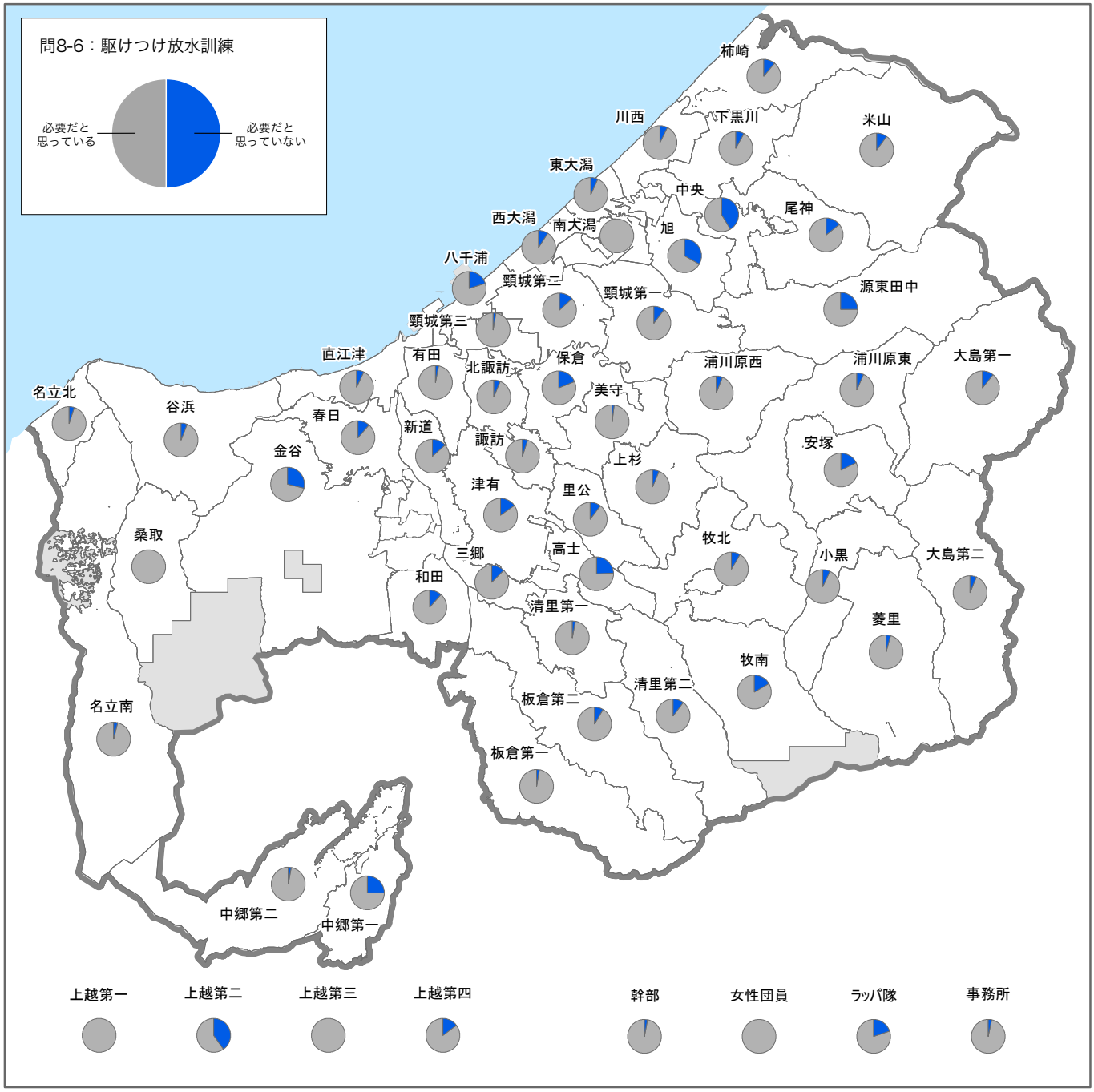
# 問8-5 消防団活動における訓練　【小隊編成訓練】



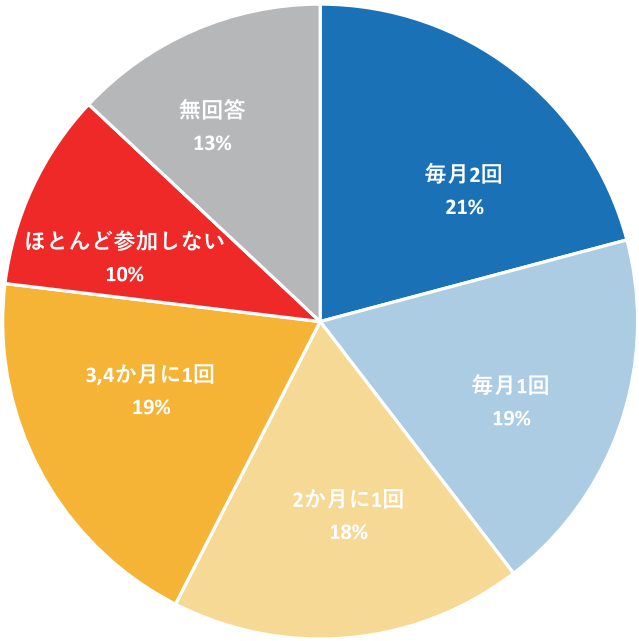

48頁に示した問8全体における、比較的「必要ない」との回答が多かった「小隊編成訓練」について、分団ごとの傾向を示す。円グラフの赤は「小隊編成訓練は必要ない」と回答した団員の割合を示した。

# 問8 6 消防団活動における訓練　【駆けつけ放水訓練】




48頁に示した問8全体における、「必要ない」との回答がそこそこ多かった「駆けつけ放水訓練」について、分団ごとの傾向を示す。円グラフの青は「駆けつけ放水訓練」と回答した団員の割合を示した。

# 問9 通常夜警の参加頻度




## 問9. 通常夜警の参加頻度

### 1. 質問項目を設けた経緯：通常夜警への参加者が減っている

ヒアリング調査の中で「消防団活動の基本となる通常夜警への参加率が減っている」との懸念事項が示された。「毎月2回の夜警に出てこない団員がいる」「夜警への参加回数が減少し、最終的に参加しなくなり、幽霊団員となる傾向がある」という実態があることがわかった。

### 2. アンケート調査項目：通常夜警の参加頻度

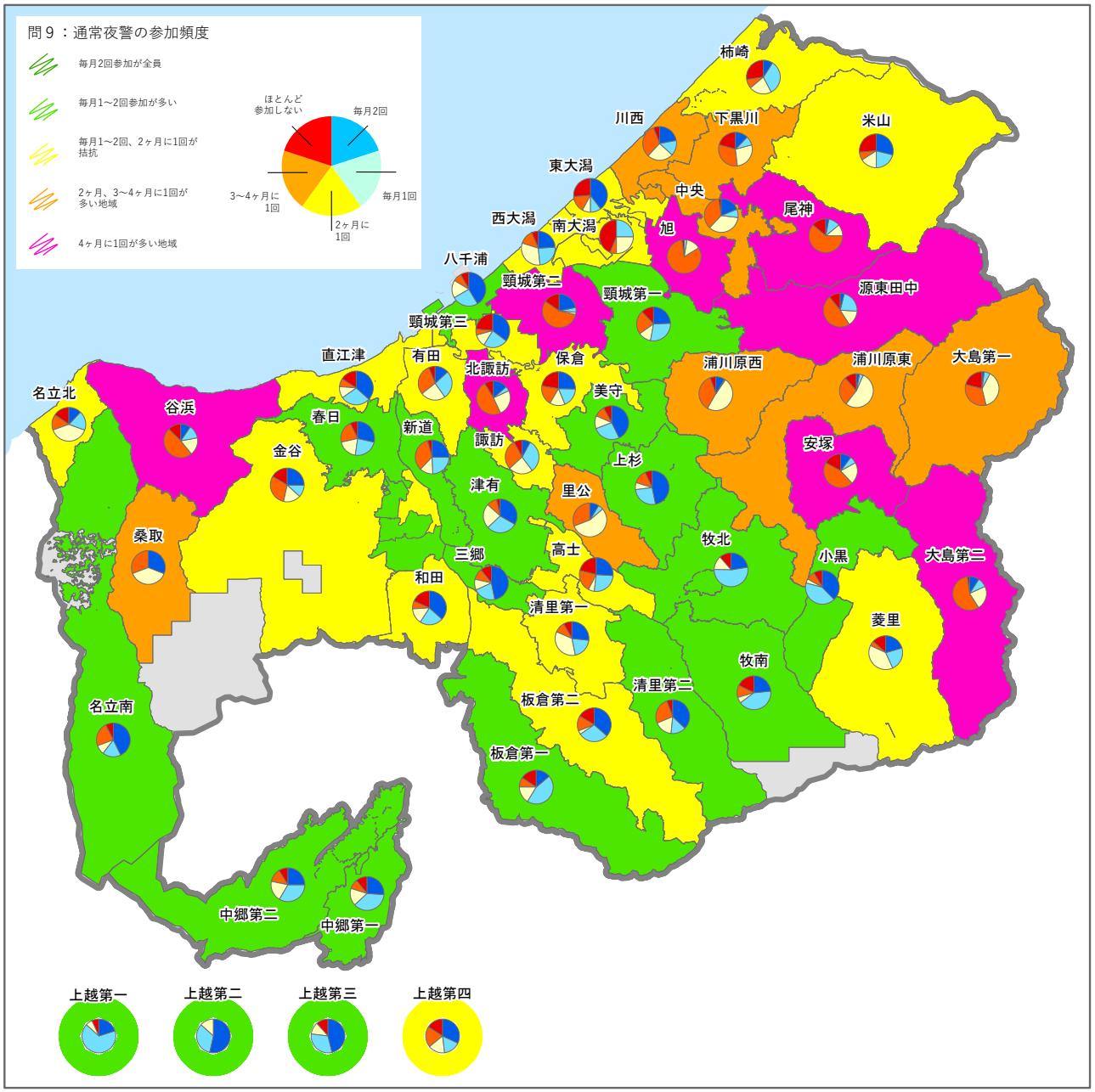
●活動に関する質問.
問9. 通常夜警〈月２回〉を行う団員の方に質問します。(対象外の団員は問11へ進んでください)あなたが参加する頻度を教えて下さい。(１つだけ選択)
·毎月２回　720　·毎月１回　646　·２か月に１回程度620　·３か月に１回程度　409　·４か月に１回程度　260
·ほとんど参加していない　348

### 3. 調査結果(円グラフ・全体)：通常夜警の活動に適切に参加しているのは全体の21％

期待される参加頻度は、毎月2回である。「毎月1回」と回答したのは全体の19%、「毎月2回」と回答したのは21%、であった。「2ヶ月に1回」で18%、「3，4ヶ月に1回」で19%、「ほとんど参加しない」は10%であった。適正に参加しているのは21%に留まっていた。

### 4.調査結果(円グラフ・分団別)：5割弱の団員がほとんど夜警に参加しない分団がある

全分団のうち、「毎月2回」の参加が多いと答えた分団は、事務所57.1%、上越第二53.3%、であった。「毎月1回」と答えた割合が多かったのが、上越第一分団66.7%、牧北分団53.3%、板倉第一45.0%であった。「2ヶ月に1回」と答えた割合が多かったのが、浦川原東分団54.0%、三和里公分団55.2%、、浦川原西分団48.4%であった。「3,4か月に1回割合」と答えた割合が多かったのが、吉川旭分団81.4%、吉川尾神分団61.1%、大島第二分団56.9%、頸城第二分団56.5%であった。「ほとんど参加しない」と答えた団員の割合が多かったのは、南大潟分団の43.8%であった。




## 5. ５５分団の傾向（不明・無回答は除く）：４つの傾向に分類できる

**1）「毎月1～2回」が多い地域　21分団**

（上越八千浦、上越三郷、三和上杉、三和美守、事務所、上越第二、上越第三、清里第二、幹部、頸城第一、名立南、上越新道、上越春日、上越第一、牧北、牧南、板倉第一、中郷第一、中郷第二、上越津有、安塚小黒）

**2）「毎月1～2回」「2ヶ月に1回」が拮抗している地域　18分団**

（上越第四、上越保倉、上越金谷、東大潟、上越高士、板倉第二、頸城第三、上越和田、上越直江津、柿崎米山、柿崎、南大潟、上越諏訪、上越有田、清里第一、西大潟、安塚菱里、名立北）

**3）「2ヶ月に１回」「3～4ヶ月に1回」が多い地域　8分団**

（吉川中央、柿崎川西、浦川原西、柿崎下黒川、大島第一、浦川原東、上越桑取、三和里公）

**4）「4ヶ月に1回」が多い地域　8分団**

（大島第二、吉川旭、吉川尾神、安塚、上越谷浜、頸城第二、吉川源東田中、上越北諏訪）

※ 女性団員およびラッパ隊は通常夜警は所掌業務でないため、参加はなく、上記の分類から外している。